# Weakly Supervision Twitter Profile

Speaker: @cympfh

September 10, 2014

■ Twitter ユーザーの個人情報の推定

- Twitter ユーザーの個人情報の推定
- 友達の推薦、広告とかに使える

- Twitter ユーザーの個人情報の推定
- 友達の推薦、広告とかに使える
- 実際、性別による広告ターゲティングが使われてる (" 広告主の方へ: Twitter プロモ商品で性別のターゲティ ングが可能になりました")

- Twitter ユーザーの個人情報の推定
- 友達の推薦、広告とかに使える
- 実際、性別による広告ターゲティングが使われてる (" 広告主の方へ: Twitter プロモ商品で性別のターゲティ ングが可能になりました")
- (個人的に) ネトストが効率化される

## リンク

- http://aritter.github.io/ 作者の一人のサイト
- http: //www.aclweb.org/anthology/P/P14/P14-1016.pdf 論文はここ

# 目次

- 1 導入
- 2 関連研究
- 3 データ
- 4 モデル
  - 推定
- 5 実験

ユーザーのツイートと友達関係からそのユーザーの (Facebookっぽい) プロフィールを生成する

- 配偶者
- 学歴 (在学してる大学)
- ■職業
- ■趣味
- 宗教
- 出身地
- 現住所
- ■家族

ユーザーのツイートと友達関係からそのユーザーの (Facebookっぽい) プロフィールを生成する

- 配偶者
- 学歴 (在学してる大学)
- ■職業
- ■趣味
- 宗教
- ■出身地
- 現住所
- ■家族

ツイートの中で言及があれば、強い証拠になる.というか、 そのような言及はあると仮定する.

#### 配偶者 (の Twitter ID)

@hogehoge has taken all the kids today so I can go shopping -CHILD FREE!

#### 学歴 (学校の名前)

I got accepted to be part of the UofM engineering safety pilot program in FSU.

#### 職業 (会社名)

first day of work at HuffPo, a sports bar woo come visit me yo..

## 先行研究

- Twitter のプロフィール当ての先行
  - 年齢 Rao+ 2010
  - 政治的意見 (極性) Pennacchiotti & Popescu 2011, Conovt+ 2011
  - 性別 Ciot+ 2013, Liu & Ruth 2013, Liu+2012
- 訓練データの作成のコスト
  - 例えば上の Cio+ 2013 は、プロフィール画像を人間が 見て手で性別を書きだした

#### 知見

- Distant supervision a.k.a. weak supervision
  - 後述
- Homophily
  - (ネットにおける) 友達関係は同じ属性 (趣味とか) を持ちやすい
  - 今回の場合、「学歴」「職業」についてはかなり利きそう
  - 逆に「配偶者」については全く効かなそう
  - 属性の性質によって恣意的に

# **Distant supervision**

"Distant supervision for relation extraction without labeled data"

Mintz+, 2009

http://web.stanford.edu/~jurafsky/mintz.pdf

訓練データの作成に手でラベルを付与する代わりに、知識データベース (e.g. Freebase  $^1$ ) を間に挟んで手間を省く.

<sup>1</sup>http://www.freebase.com/

# 訓練データの作成

#### 3つの属性

- ■学歴
- 職業
- 配偶者

について、それぞれ、Twitter ID をノードとするグラフを3つ作る.(一つのユーザーについて3つの属性を揃えるわけではない)

学歴、職業、については Google+ を用いる. 最終的に Twitter ID と紐付け したいので、

- (「学歴」or
- 「職業」) and
- 「Twitter へのリンク」

を満たすプロフィールページ を探す.



Google+ "knowledge base"

#### エイリアス

データベースである Freebase を用いる "Harvard University"

"Harvard" "Harvard U"

ightarrow 何か一つ

Freebase is an open, Creative Commons licensed graph database with more than 23 million entities.

An **entity** is a single person, place, or thing. Freebase connects entities together as a graph.

Ways to use Freebase:

- Use Freebase's Ids to uniquely identify entities anywhere on the web
- Query Freebase's data using MQL
- Build applications using our API or Acre, our bosted development platform

## データの広げ方

Google+, Twitter の友達関係の両方を用いて、ユーザーを 追加してく.

ただし、Twitter の友達関係は、あとで素性として使う.

## 配偶関係

配偶者をわざわざ書かせる SNS は Facebook くらいしか ないので、これを用いる. ただしこれだけだと少ないので Freebase を用いて /PEOPLE/PERSON/SPOUSE にあるものを追加する.

То	From	Spouse
7/1/2011	4/26/1986	Maria Shriver
		Arnold Schwarzenegge
	8/28/2004	Michelle Hlubinka
		Robert Cook
2014 March	7/28/1983	Lyudmila Putina
		Vladimir Putin
1958	8/11/1950	Verena Huber-Dyson
		Freeman Dyson
	11/21/1958	Imme Dyson
		Freeman Dyson
5/29/1958	9/14/1939	Theodora Lynch
		J. Paul Getty
1935	12/1/1932	Ann Rork
		J. Paul Getty
8/4/1932	12/31/1928	Adolphine Helmle
		J. Paul Getty
1928	1926	Allene Ashby
		J. Paul Getty
9/6/1973	12/6/1962	Diane Cilento
		Sean Connery
	5/6/1975	Micheline Roquebrune

#### http:

//www.freebase.com/people/marriage?instances=

#### また配偶関係は反射関係を持つはず

a isSpouseOf b = b isSpouseOf a

ことから、

 $a ext{ isSpouseOf } b$  かどうかが分からなくても、 $b ext{ isSpouseOf } a$  が分かれば、そちらも決定できる.

## データの統計

以上のように集めたデータセットを正のデータとする.異なる組み合わせを負のデータとして作る.\_

	Education	Job	Spouse
#Users	7,208	1,806	1,636
#Pos Entities	451	380	3121
#Neg Entities	7.0e6	4.4e6	8.8e6

Table 2 の一部

提案されるモデル

# 変数

- ユーザー: 1 < *i*, *j* < *M*
- 属性: *k* = Spouse, Education, Job
- ユーザー *i* によるツイート (集合): *X<sub>i</sub>* = {*x<sub>i,j</sub>*}
- エンティティ: e (属性問わず)
- ユーザー *i* の属性 *k* についての友達の集合: F<sub>i</sub><sup>k</sup>
  - *k* = Education, Job の場合は単なるフォロー関係
  - *k* = Spouse の場合は、配偶者 の単集合
- *z*<sup>k</sup><sub>ie</sub>: ユーザー i の属性 k が e であるかどうか
- $z_{i,x}^k$ : ユーザー i のツイート x が属性 k についての言及であるかどうか

# 戦略

GLOBAL  $z_{i,e}^k$ : ユーザーi の属性k がe であるかどうか LOCAL  $z_{i,x}^k$ : ユーザーi のツイートx が属性k についての言及であるかどうか

最終的には  $z_{i,e}^k$  を知りたい.

GLOBAL は直接それを推定する.

LOCAL はツイートの単位で  $z_{i,x}^k$  を推定する.最後に OR をとれば、

$$z_{i,e}^k = \exists x \in \{x | x \in X_i \land e \in x\}. \ z_{i,x}^k$$

#### モデル

友達が  $F_i^k$  で今までに  $X_i$  という発言をしてきたユーザー i の属性 k が e である確率 .

#### Eq. 2

$$\Psi(z_{i,e}^k, X_i, F_i^k : \Theta) \propto \Psi_{text}(z_{i,e}^k, X_i) \times \Psi_{\textit{Neigh}}(z_{i,e}^k, F_i^k)$$

右辺は、"テキスト的要因" と"隣人的要因" とに分離して独立と仮定している.

#### テキスト的要因

エンティティ e と テキスト  $X_i$  から得る素性ベクトルを  $\psi_{text}(z_{i,e}^k, X_i)$  として、

$$\Psi_{text}(z_{i,e}^k, X_i) = \exp\left[\Theta_{text}^k ^T \cdot \psi_{text}(z_{i,e}^k, X_i)\right]$$

 $\Theta_{text}^{k}$  は重みベクトル

## 隣人的要因

ユーザーiの友達jの発言 $X_j$ を見て、決める.

$$\Psi_{Neigh}(z_{i,e}^k, F_i^k) = \prod_{j \in F_i^k} \Phi_{Neigh}(z_{i,e}^k, X_j)$$

where

$$\Phi_{\textit{Neigh}}(z_{i,e}^k, X_j) = \exp\left[\Theta_{\textit{Neigh}}^k{}^T \cdot \psi_{\textit{Neigh}}(z_{i,e}^k, X_j)\right]$$

## 素性ベクトルの作り方

#### そんなに面白くない

- エンティティが大文字で始まるか
- エンティティの長さ
- POS tag
- エンティティの辞書にマッチする語がツイート中にあるかどうか

## 配偶関係の場合の隣人関係

本来、ユーザーiの配偶者がjなら

$$F_i^{Spouse} = \{j\}$$

だけど、分からない間はそうはいかないので、ツイート中に現れた Twitter ID 全ての集合を用いる.

## 推定のアルゴリズム

推定したNユーザーの周り $(F_i^k)$ の属性が既知の場合と分かってなN場合.

現実世界においては、部分的には既知であることがある.

- NEIGH-OBSERVED
- NEIGH-LATENT

#### **NEIGH-OBSERVED**

周りの属性が既知なら、いきなり右辺が求まる.

$$z_{i,e}^k \leftarrow \mathrm{argmax}_z \Psi(z, X_i, F_i^k)$$

#### **NEIGHT-LATENT**

初期化 全ての 
$$z_{i,e}^k$$
 を  $\Psi_{text}$  で推定 更新 収束するまで for-each i, e  $z_{i,e}^k$  を  $\Psi$  で推定

入力  $\{(i, X_i, F_i^k)\}$ 

#### Eq. 2 (再掲)

$$\begin{array}{l} \Psi(z_{i,e}^k, X_i, F_i^k : \Theta) \propto \\ \Psi_{text}(z_{i,e}^k, X_i) \times \Psi_{Neigh}(z_{i,e}^k, F_i^k) \end{array}$$

 $z_{i,e}^k \leftarrow \operatorname{argmax}_z \Psi(z, X_i, F_i^k)$ 

#### ベースライン

Only-text さっきので  $\Psi_{text}$  しか使わない NELL NELL $^a$  にある大学名と会社名のリストとマッチしたら true と答える  $z_{x}^k$  を当てる

ahttp://rtw.ml.cmu.edu/rtw/kbbrowser/

#### LOCALの実験

- LOCAL(ENTITY): Entity-level:  $z_{i,e}^k$  を当てるタスク (GLOBAL と同じ)
- LOCAL(TWEET): Tweet-level:  $z_{i,x}^k$  を当てる (サブ) タスク

## 結果

		GLOBAL			LOCAL(ENTITY)			LOCAL(TWEET)		
		P	P R F			R	F	P	R	F
Our approach	NEIGH-OBSERVED	0.804	0.515	0.628	0.524	0.780	0.627	0.889	0.729	0.801
	NEIGH-LATENT	0.755	0.440	0.556	0.420	0.741	0.536	0.854	0.724	0.783
Only-Text		0.735	0.393	0.512	0.345	0.725	0.467	0.809	0.724	0.764
NELL				_	0.170	0.798	0.280	0.616	0.848	0.713

Table 4: Results for Education Prediction

精度は GLOBAL > LOCAL 再現は GLOBAL < LOCAL — LOCAL において  $z_{i,e}^k$  は  $z_{i,x}^k$  の OR だから

		GLOBAL			LOCAL(ENTITY)			LOCAL(TWEET)		
		P R F			P	R	F	P	R	F
Our approach	NEIGH-OBSERVED	0.643	0.330	0.430	0.374	0.620	0.467	0.891	0.698	0.783
	NEIGH-LATENT	0.617	0.320	0.421	0.226	0.544	0.319	0.804	0.572	0.668
Only-Text		0.602	0.304	0.404	0.155	0.501	0.237	0.764	0.471	0.583
NELL	_				0.0079	0.509	0.0156	0.094	0.604	0.163

Table 5: Results for Job Prediction

- ■「学歴」より難しい (学生はすぐ宿題の話をするので 簡単)
- Only-Text < NEIGH-LATENT < NEIGH-OBSERVED から、隣人関係の有用性が言える

	GLOBAL			LOC	CAL(ENT	TY)	LOCAL(TWEET)			
	P	R	F	P R		F	P	R	F	
Our approach	 0.870	0.560	0.681	0.593	0.857	0.701	0.904	0.782	0.839	
Only-Text	 0.852	0.448	0.587	0.521	0.781	0.625	0.890	0.729	0.801	

Table 6: Results for Spouse Prediction

## まとめ、感想

- 訓練データの作成には、属性ごとに工夫が必要
- 結果はそこまで属性によって偏らない